

プロジェクトの進捗状況

	プロジェクト名【参画中心機関】	進捗状況・目標達成状況
1	次世代がん治療（BNCT）の開発 実用化【筑波大】	・2024.2月から実用化に向けた第Ⅰ相試験（安全性試験） を実施中 一定の進捗到達
2	生活支援ロボットの実用化 【産総研 ➡ JARI】	・生活支援ロボットの安全性基準確立（国際標準規格 ISO13482 発行）、23機種が認証取得 目標達成
3	藻類バイオマスエネルギーの 実用化【筑波大】	・藻類オイルを利用した化粧品等の開発、関連ベンチャー （6社設立）による販売など藻類産業を創出 ・下水資源を活用した技術実証を展開 一定の進捗到達
4	TIA 世界的イノベーション プラットフォームの形成【TGI】	・産総研・NIMS・筑波大・KEK・東大・東北大の6機関が 連携し、プロジェクト組成・産業化の推進体制を構築 （2023年度：研究支援41件） 目標達成
5	つくば生物学資源を基盤とする 革新的医薬品・医療技術の開発 【筑波大・TGI】	・研究機関や企業が連携し、革新的な医薬品等の開発を 推進する体制（TLSK）を構築 （2023年度：連携企業49社） 目標達成
6	核医学検査薬（テクネチウム） の国産化【JAEA】	・テクネチウム製剤の原料の製造、製造した原料からのテ クネチウム-99mの抽出に係る基盤技術を確立 目標達成 ※今後は原子力規制委員会で実用化する抽出方法を検討
7	革新的ロボット医療機器・医療 技術の実用化【CYBERDYNE㈱】	・ロボット医療機器 HAL が国内外で実用化・医療保険等 適用、米国、ドイツをはじめ世界10か国以上に展開 目標達成
8	戦略的都市鉱山 リサイクルシステムの開発実用化 【産総研・㈱リーテム】	・貴金属等を原料化する選別機（CEDEST）の実証機が完成 ・プラスチックの高品位選別ラインの実装 目標達成
9	植物機能を活用しヒトの健康増進 に資する有用物質生産システムの 開発事業化【筑波大】	・GABA トマトの開発、関連ベンチャー※を設立して販売 （機能性表示食品届出） 目標達成 ※ニューヨーク ピッチイベントに登壇（2024.11月）